

— 第 I 巻「流す・形にする・固める」 &
第 II 巻「成形加工における移動現象」 —

情報 URL <https://www.jspp.or.jp>

本学会では、成形加工の基礎理論から最新技術までを幅広く取り上げたテキストシリーズを発刊しております。本講座では、このテキストシリーズ各巻のテキストを用い、編集を担当された先生方から直接解説頂きます。基礎から実践にいたる内容を平易にかつ具体的に解説することを基本としています。このため、プラスチック成形加工の経験の浅い方にも、また経験豊富な方にも人気の高い講座であり、好評を博しております。今回開催する第 I 巻「流す・形にする・固める」&第 II 巻「成形加工における移動現象」講座では、“成形加工”を切り口に重要なポイントを解説します。製品組立てメーカー、成形加工メーカー、材料メーカー他、プラスチック製品・材料の設計・開発に携わる各種産業分野の若手、中堅技術者、研究者の皆さんにとって役立つものと確信しております。プラスチック業界に関わらず、関心のある多くの方々の参加をお待ちしております。[企画担当委員：南川慶二(徳島大学)、中嶋孝宏(KRI)]

1. 開催日：2026年9月17日(木)

2. 場所：オンサイトと Zoom によるオンラインのハイブリッド開催

オンサイト：きゅりあん 6 階 中会議室

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1

TEL：03-5479-4100

JR 京浜東北線・東急大井町線、りんかい線

大井町駅 徒歩約 2 分

<https://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/access.html>

オンライン：Zoom を予定。

3. 主催：一般社団法人プラスチック成形加工学会

4. 協賛(予定)：化学工学会、型技術協会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本金型工業会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE 日本支部

5. 定員：オンサイト 25 名、オンライン 100 名(先着順、定員に達し次第締切)

6. 参加費(税込み)：

会員・賛助会員	21,000 円
学生会員	7,000 円
協賛学協会員	31,000 円
非会員	36,000 円
学生非会員	9,000 円

※参加費には使用するテキスト 2 冊分(6,000 円)を含む。テキスト不要の場合は申込フォームのテキスト不要欄にチェックを入れてください。

7. 参加申込締切：2026年9月4日(金)

8. 申し込み・お問い合わせ先

プラスチック成形加工学会ホームページの主催行事からお申し込みください。

9. プログラム：

時刻	内容	講師
10:10-11:00	第 I 巻「『流す・形にする・固める』という概念」「形状の付与」 キーワード：「流す・形にする・固める」プロセス、形にするプロセスと成形力、成形精度	東京科学大学 齊藤 卓志
11:00-11:50 (11:50-12:00)	第 II 巻「移動現象から見た成形加工」 キーワード：移動速度と駆動力、保存則、熱移動と材料温度、熱移動の 3 形態	東京科学大学 齊藤 卓志
12:00-13:00	昼休み	
13:00-13:50	第 I 巻「流動性の付与」「形状の固定化」「『流す・形にする・固める』によって発現する機能」 キーワード：加工時間、緩和時間、ガラス転移、融点、結晶化、透明性	山形大学 杉本 昌隆
13:50-14:40 (14:40-14:50)	第 II 巻「プラスチック材料の移動現象と転移現象」 キーワード：レオロジー、せん断粘度、伸長粘度、構成方程式、大変形	山形大学 杉本 昌隆
14:50-15:00	休憩	
15:00-15:50	第 I 巻「『流す・形にする・固める』過程での成形不良」 キーワード：成形不良、射出成形、金型内成形現象、フローマーク、ウェルドライン、シルバーストリーク、ボイド、ヤケ、可視化	YOKOI Labo 横井 秀俊
15:50-16:40 (16:40-16:50)	第 II 巻「成形加工における輸送現象」 キーワード：加熱シリンダ、輸送現象、スクリュ可塑化、固体輸送、ペレット、可視化	YOKOI Labo 横井 秀俊

※括弧内の時間は質疑応答時間です。